茅野市社会福祉協議会広報紙 ―― ふみだそう、福祉でまちづくり ――

やらざあ

Vol.163
2024年6月号

能登半島地震の被災地支援 ～富山県氷見市～

令和６年能登半島地震で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

茅野市社協は市民の皆さんとともに被災地に寄り添い継続した活動を行っています

氷見市は、富山県の北西部、能登半島の付け根部分に位置しています。1月1日の能登半島地震では、震度５強を観測し、3ｍの津波警報の発出により沿岸部の住民6,000人が高台に避難しました。

茅野市社協は、富山県氷見市、愛知県半田市、三重県伊賀市の４市の社協で「災害時における相互支援に関する協定」を締結しています。今回、富山県氷見市社協からの職員派遣要請を受け、氷見市災害ボランティア・支えあいセンターの運営支援に入りました。

災害ボランティア・支えあいセンター運営支援

1月13日（土）～2月25日（日）

計15名の職員がセンター運営の支援に入りました。

現地でのニーズ調査、そのニーズをボランティアで対応できるか検討する仕分け会議

ボランティアが入る前の打合せ

ボランティアバスパック（茅野市共催）

2月11日（日）　茅野市民20名参加

高齢化により、自分たちだけでは対応が難しいという氷見市中央町の今町町内会からのニーズに応え、側溝の泥だし・液状化により道路に流れ出た土砂の撤去を、住民の方と一緒に行いました。

参加者の声

災害時における、困難な中でも人の持つ力・繋がりの尊さ大切さを肌で感じることができ、貴重な経験になりました。

原　優

シリーズ 社協が取り組む福祉教育

がっこう カケル × ふくし

北部中学校　相互理解を深めることで、みんなが暮らしやすい地域へ

令和５年度の３年生は、『視覚障害』について２回に分けて学習しました。自分と相手の接点や違いに気づき、みんなが笑顔で安心して暮らすために自分に何ができるか考えました。

視覚障害の理解

第１回目は、視覚障害の理解です。当事者の方から普段の生活の様子などをお聞きし、当事者の方がどんなことに困り、どうやって解決しているのか、自分がサポートするときには何に気をつければいいか考えました。

また、視覚障がい者のための便利グッズやユニバーサルデザインの商品等を実際に見たり、触れたりして学びを深めました。

ガイドヘルプ体験

第２回目は、『視覚障害の体験』です。視覚障がい者側とガイドヘルパー側を体験しました。必要な情報を正確に伝える難しさを感じたり、安心できる声掛けやガイドの方法を学びました。

ヘルプ側になると「止まってください」など、普段友達と歩いている時には言わないことを言わなければならなかったから、「視覚障がいの方に具体的に伝える」ことは難しかった。逆に障がいの方の側になると、真っ暗で何も見えず、ガイドからの説明がない時は少し怖かった。でも、視覚障がいの方はこれで毎日生活をしていると思うと、とてもすごいと思った。日常で、そういう人に出会ったら積極的に助けたい。

今回の体験は、最初からルートが分かっていたからスムーズにできたけど、道が全く分からないところだと障がいのある方も怖いし、説明する側も難しいと思った。だからこそ、相手の立場・気持ちに寄り添って少しでも安心してくれるように行動していきたい。

ガイドヘルプの体験では、どう言ったら伝わるのかと言葉を選ぶのが難しかったです。私はコーンの前で止まって「右に曲がるね」と言ったら、コーンの手前で曲がってしまったので、ガイドヘルプの行動や言葉はすごく大切だということを知りました。

より福祉に関わりたいと感じた。丁寧に伝えることはとても大変だけれど、その言動によって人を助ける、救うことができることを知った。みんなのようにやっぱり目隠しをすると怖いから、助ける時には丁寧にガイドしていきたい。

中島博文先生

今、長野県では「個人と社会のウェルビーイングの実現」をめざしています。その一端を担う生徒たちが「人を大切にする」生き方を感得し、将来「中学時代、視覚にハンディキャップをもつ方の生き方やガイドヘルプを学んだ」ことを誇りにもち、行動に活かすことを願って学ばせていただきました。

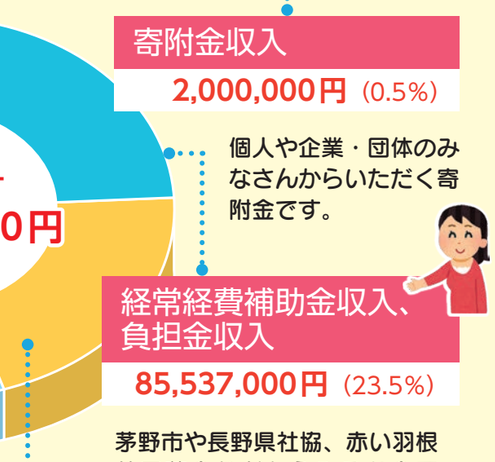
進学により生活範囲が広がり、自分で考えることが増える子どもたちに、何を伝えたらいいか考えながら、内容を決めました。

これからも、相手を理解しようとする姿勢を大切にしてほしいと思います。

令和６年度の茅野市社会福祉協議会の事業計画と予算

茅野市社会福祉協議会では、「ともに生きる豊かな地域社会」の実現を目指し、各種事業に取り組んでいます。社協が実施している事業は、「やらざあ」にて随時、紹介していきます。
予算、事業計画の詳細につきましては、こちらのQRコードからご覧いただけます。

収入の内訳



会費収入
8,800,000円（2.4%）

市民のみなさんから協力いただいている社協会費です。

その他の収入
43,918,000円（12.1%）

受取利息、積立金の取崩、繰入金、雑収入等です。

寄附金収入
2,000,000円（0.5%）

個人や企業・団体のみなさんからいただく寄附金です。

事業収入、貸付事業収入、就労支援事業収入
10,524,000円（2.9%）

事業を行って入るお金です。

経常経費補助金収入、負担金収入
85,537,000円（23.5%）

茅野市や長野県社協、赤い羽根共同募金などから入るお金です。

障害福祉サービス等事業収入
37,150,000円（10.2%）

障害福祉サービスを提供して入るお金です。

受託金収入
80,820,000円（21.0%）

茅野市等から事業を受託し入るお金です。

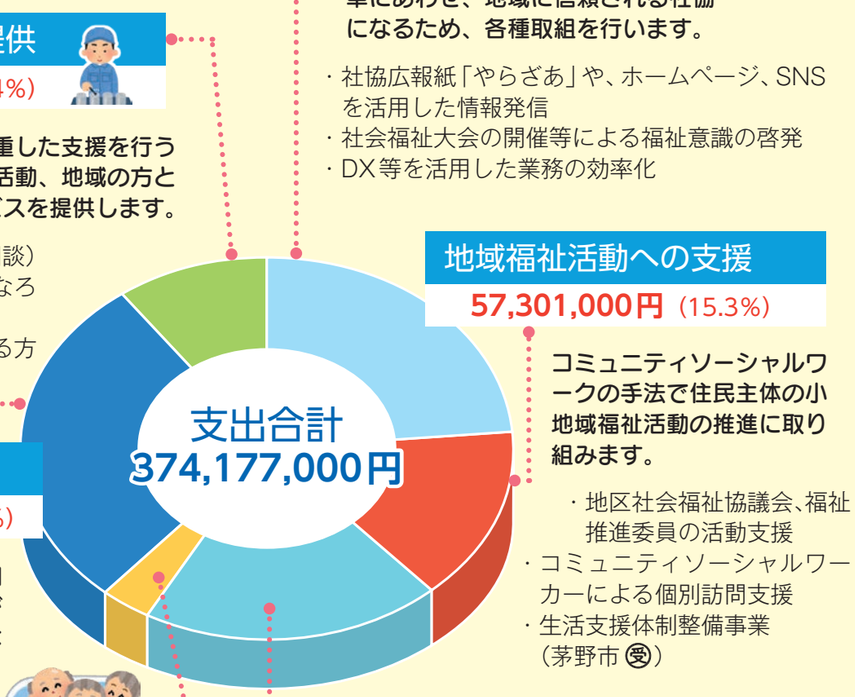
介護保険事業収入
99,545,000円（27.4%）

介護サービスを提供して入るお金です。

令和６年度の基本方針

○令和６年度を初年度とする「中期経営計画」に基づき、茅野市における地域福祉の推進を図るための法人基盤強化
○第３次福祉21ビーナスプラン」の取組を着実に進めるため、「重層的支援体制整備事業」の実施に向けた検討
○生活困窮者支援を担う「くらし応援ネットワーカー」の配置
○事務局の部門間連携の強化等、会員や関係機関・団体との連携・協働による茅野市社協の総合力の向上
○パブリックリレーションズ委員会の設置により広報戦略を一体化し、積極的な情報発信及び広報活動の実施

支出の内訳と事業計画



障害福祉サービスの提供
38,710,000円（10.4%）

利用者一人ひとりの意思を尊重した支援を行うとともに、心身の健康や余暇活動、地域の方との交流が図られるよう、サービスを提供します。

・障害者相談支援事業（計画相談）
・就労継続支援Ｂ型事業（あすなろセンター）
・日中一時支援事業（障害のある方の居場所支援）

社協の運営
69,024,000円（18.5%）

持続可能な法人運営のための経営改革にあわせ、地域に信頼される社協になるため、各種取組を行います。

・社協広報紙「やらざあ」や、ホームページ、SNSを活用した情報発信
・社会福祉大会の開催等による福祉意識の啓発
・DX等を活用した業務の効率化

地域福祉活動への支援
57,301,000円（15.3%）

コミュニティソーシャルワークの手法で住民主体の小地域福祉活動の推進に取り組みます。

・地区社会福祉協議会、福祉推進委員の活動支援
・コミュニティソーシャルワーカーによる個別訪問支援
・生活支援体制整備事業（茅野市 ㊎）

介護サービスの提供
116,521,000円（31.1%）

ご本人やご家族と意思疎通を図り、信頼感・関係性をつくりながら、こころのこもったきめ細かなサービスを提供します。

・居宅介護支援事業（ケアマネージャー）
・訪問介護事業（ホームヘルパー）
・デイサービス事業（西部デイサービスセンター）

一人ひとりの日常生活を支えるための支援
80,475,000円（21.5%）

些細な悩みごとやどこに相談してよいかわからないことなど総合的な相談に応じ、専門職等との連携、各種制度・サービスなどを横断的に組み合わせて多方面から支援します。

・成年後見支援センター事業（茅野市・原村 ㊎）
・日常生活自立支援事業（長野県社協 ㊎）
・生活福祉資金貸付事業（長野県社協 ㊎）
・シャララ・ほっとサービス事業
・移送サービス事業（茅野市 ㊎）
・配食サービス事業“おたっしゃ弁当”（茅野市 ㊎）
・一般介護予防事業“塩つぼの湯デイサービス”（茅野市 ㊎）
・くらし応援ネットワーカーによる生活に困窮する方への相談支援

ボランティア活動と福祉教育（啓発）の実践
12,146,000円（3.2%）

“地域を育む”ことを目指し、ボランティアのコーディネートを行います。また、“ふくし”を我が事にするきっかけづくりとして、地域、学校、企業などにおける福祉教育を行います。

・出前福祉教室
・サマーチャレンジ（ボランティア体験）
・ボランティアまちづくりセンターにおけるボランティア活動支援

※㊎：受託事業

“ボランティア活動”のはじめの一歩！

夏のボランティア体験
「サマーちゃれんじ2024」参加者募集！

この夏、ボランティア活動のはじめの一歩をふみ出してみませんか。市内の福祉施設等にご協力をいただき、ボランティア活動を体験する「サマーちゃれんじ2024」を開催します。

体験期間 7月24日（水）～ 8月22日（木）

活動場所 市内の福祉施設（高齢者福祉施設、障害者福祉施設、保育園等）・NPO法人・茅野市社協等

対象者
- 小学５年生から一般の方まで（活動先により異なります）
- 小、中、高校生は、保護者の同意をお願いします。
- 原則として同じ施設で連続３日間活動ができ、事前学習会に参加できる方

事前学習会 必ず①②のどちらかに出席してください。
①７月４日（木）午後６時～７時（受付：午後５時30分）
②７月９日（火）午後６時～７時（受付：午後５時30分）
会場は両日とも、ゆいわーく茅野３階　集会室（茅野市ひと・まちプラザ）

参加費 500円（ボランティア活動保険代を含む）事前学習会に参加の際にお持ちください。
※令和６年度、既にボランティア活動保険加入済みの方は150円になります。

募集期間 ６月３日（月）～６月21日（金）　**※先着順で受け付けます。**

参加要項 活動場所・活動日など活動内容を一覧にした冊子を、５月下旬から社協事務局でお渡しします。また、市内小・中・高等学校等にも冊子を配布します。その他、社協ホームページでも冊子と同じ内容を確認出来ます。

申込方法
① 参加申込用紙に記入し、郵送、FAXまたは社協窓口にご持参ください。
② 社協ホームページから参加申込用紙をダウンロードすることができます。
③ こちらのQRコードからも申込みできます。

問合せ・申込み先
茅野市社会福祉協議会
茅野市社協ボランティアまちづくりセンター　TEL　73-4431

ボラまち掲示板

毎号、みなさんにお知らせしたいこと、ひと、活動などをご紹介していきます。おたのしみに♪

こんにちは。茅野市社協ボランティアまちづくりセンターです。
ボランティアまちづくりセンターの活動の一つに『災害ボランティアセンター設置時におけるボランティア活動の支援』があります。４月11日～12日には、市民の方々10名と石川県能登町内の住宅で、家財の搬出や集積場までの運搬等の災害ボランティア活動を行いました。詳細は次号でご報告します。

ひとりで悩まず まず相談

結婚相談（予約制）

※相談希望日の２営業日前までに予約が必要です

結婚を望まれる方の相談

毎月第１・３土曜日　午後１時～午後４時
毎月第２・４金曜日　午後６時30分～午後８時30分
相談員：結婚相談員

司法書士の法律相談（予約制）

※前日の午後４時までに予約が必要です

身近な法律に関する相談

毎月第２水曜日　午後３時～午後５時
相談員：司法書士

相談会場は
社協相談室（茅野市ひと・まちプラザ２階）になります。
☎（0266）73－4431

上記以外の様々なお困りごとも社協にご相談ください。

読者の声

- 金田和尚のつぶやきを毎号楽しみに読んでいます。体のために毎朝ウォーキングをしています。　（宮川　80代男性）
- おかげさま、本当にいい言葉。私もこれからの人生、皆に感謝することを忘れず生きていこうと思います。　（湖東　60代男性）
- 金田和尚のつぶやきはよかったですが、今回で終わりですね？色々と参考になることもあり、楽しく読ませてもらいました。　（塚原　70代女性）
- やらざあ拝見しました！素敵な広報ですね！とくにこのクイズ、良いですね！読者が増えそうです！　（富山県氷見市　女性）

ご寄附ありがとうございました

令和６年２月１日～令和６年３月31日まで

【寄附金】
ろうきん茅野支店運営委員会様　12,708円
三栄製薬株式会社様　300,000円／米沢小学校様　金額非公開
匿名　2,000円　／　匿名　1,500円　／　匿名　451円

【寄贈】
匿名　清拭布2.1kg・新品肌着・介護用オムツ等

【フードドライブ】
検校庵様　お米・缶詰・レトルト・レトルトカレー等33点
匿名　食品4点・ホッカイロ　／　匿名　飲料・お菓子　計55点

みなさんからいただいたご寄附は、社協運営事業、ボランティア活動の支援等にも使われています。
※この他にも匿名で、多くのご寄附をいただいております。

社協広報紙 やらざあ Vol.163
2024年６月号
社協HP
発行／社会福祉法人　茅野市社会福祉協議会
編集／PR委員会

〒391-0002
茅野市塚原２－５－45　茅野市ひと・まちプラザ２階
TEL（0266）73－4431　FAX（0266）73－8030

茅野市社協では不要入歯の回収をしています。

- 茅野市ひと・まちプラザ入口
- 茅野市役所総合受付横
- 塩つぼの湯デイサービスの横

の３か所で回収しています。

皆さんからご寄附いただいた入れ歯は、世界中の子供たちや茅野市の福祉に役立ちます。

今回のクイズ　なんのことば？

あいている□の中のことばを合わせると、なにになるかな？

おも□つき大会

はる□えんそく

にゅうがく□き

応募要領

クイズの答え、住所、氏名、年齢（年代）、電話番号に社協へのご意見、ご要望、やらざあの感想、つぶやきなど一言添えて社協PR委員会までお送り下さい。ハガキや封書の他、ホームページのお問い合わせフォームからも応募できます。正解者の中から抽選で３名の方に**社協法人会員協力店にて使える商品券**を差し上げます。

応募締め切り　令和６年６月12日（水）

前回のクイズの答え　りんご

当選者

伊藤　礼子さん（ちの）　五味　和美さん（塚原）
佐藤マサ子さん（中大塩）

当選された方には図書カードをお送りいたします。
ご応募ありがとうございました。

社協広報紙 やらざあ の発行にはみなさんの社協会費と共同募金が使われています。